

1. 啓発冊子の概要

タイトル：「町会ってなあに？」

【主な構成】

- ・「こどもの見守り」・「おまつり」・「防災活動」を身近な地域活動として取りあげ、小学3年生の主人公が、これらの地域活動を通じて町会について知っていく3種類の漫画を掲載
- ・それぞれの漫画の後ろには、実際の活動風景や地域活動者へのインタビューを掲載
- ・地域活動や地域活動団体についてもイラスト化して紹介
- ・最終ページで、監修者のコメントと町会のSDG s の取組（こども食堂、コミュニティ回収）を紹介
- ・学校の授業や家庭での話し合いにおいて理解を深めることができるよう別途ワークシート「自分のまちや町会のこと 知ってる？」を作成

※小学校3年生を対象に作成



表紙

※本市HPにデジタルブック及びPDF版の冊子が載っています

ワークシート

2. これまでの経過及び今後の予定

- ・令和4年度 児童向け啓発冊子「町会ってなあに？」の制作
 - ・令和5年4月～10月 モデル区の全小学校において冊子を活用、アンケートの実施
 - ・令和5年10月～11月 モデル区における冊子活用の効果検証及び効果測定
 - ・令和5年12月～3月 各区において各区小学校等との調整
 - ・令和6年4月～ 大阪市内小学校で冊子活用開始
- ※本冊子の活用後、各小学校に対するアンケートを実施予定

3. モデル区における冊子活用の先行実施（令和5年度）

モデル区の全小学校（8校）において、活用方法（活用する授業内容等）について検討いただき、実際に各小学校で活用いただきました。

冊子の活用後、各小学校においてアンケート（「管理職用」及び「教員用」）を実施し、効果検証を行いました。

例示項目	例示内容	理由
対象学年	3年生	・社会科授業で大阪市について学習する機会があるため ・冊子の構成（文字の大きさや使用する漢字）について3年生を基本として作成したため
対象授業	・社会科の授業（わたしたちのまち 等） ・総合的な学習の時間 → 地元の夏祭りやイベント前の1学期の総合的な学習の時間 → 見守り隊の方に対する「ありがとう会」の前の総合的な学習の時間 ・交通安全指導がある時に一緒に	教育関係者の助言により効果的に活用できる方法を事前にご教示いただいたため
活用媒体	基本的にデジタルブックを使用 ※デジタルブックによる使用が難しい場合は紙媒体冊子を使用いただくことも可能とした	・国の「GIGAスクール構想」により、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する方針のもと、1人1台端末の環境整備が進められている ・本市では、令和3年度より市内全小学校で1人1台端末の環境整備は整っている

4. 効果検証結果を踏まえた冊子活用の方向性

モデル区における先行実施による効果検証の結果を踏まえた本冊子を効果的に活用できる媒体、時期、方法については以下のとおりです。

(1) 効果的に活用できる媒体：デジタルブック

モデル区において満足度が高く、使いやすいと回答した割合はデジタルブックが高い結果となりました。国の「GIGAスクール構想」の趣旨を鑑み、基本的にはデジタルブックで活用していただきたいと考えておりますが、各学校での活用方法は、学校長のご判断により紙媒体冊子で活用いただくことも可能としています。

(2) 効果的に活用できる時期：1学期（5月）または2学期（10～12月）

地域の学習は1学期の社会の授業で行うため、モデル区において、より満足度が高く、使いやすい時期は5月という結果になりました。ただし、本結果は活用時期が上半期に限定された場合によるものとなります。

活用時期を上半期と限定しなかった場合、基本的に10～12月に3年生の社会科の授業の「安全な暮らしを守る」という単元で消防署や警察署の仕事等について学習し、その中で、警察署の仕事を紹介する内容と絡めて地域（まち）の人もまちの安全を守っていることが載っており、見守り活動についても取り上げられております。本内容と啓発冊子で紹介している見守り隊の活動の内容が一致しており、本単元において冊子を活用いただくことも効果的であると言えるため、10～12月も同様に効果的に学習できる活用時期であると考えられます。

(3) 効果的に活用できる方法：社会科の授業または総合的な学習の時間

モデル区において、社会科の授業及び総合的な学習の時間において活用いただくことで満足度が高く、使いやすいという結果となりました。ただし、社会科の授業で学習する内容として「町会の仕事」は該当しないため、上記「（2）効果的に活用できる時期」に記載している通り、社会科の授業における「安全な暮らしを守る」という単元の本冊子と関係する内容を学習する時間を出発点として、総合的な学習の時間に本冊子を活用いただくとよりスムーズに活用いただけると考えられます。